

2023～24 年度 役員・理事・委員会構成

理事・役員		氏名		理事		氏名	
会 長	城戸 総一郎	会 長	城戸 総一郎	直 前 会 長	藤本 良男	会 長	藤本 良男
直 前 会 長	藤本 良男	会 長	戸田 尊文	会 長	戸田 尊文	副 会 長	一由 麻里
会 長	戸田 尊文	副 会 長	一由 麻里	副 会 長	一由 麻里	幹 事	井戸田 精一
副 会 長	一由 麻里	幹 事	井戸田 精一	幹 事	井戸田 精一	計 画	田原 さおり
幹 事	井戸田 精一	計 画	田原 さおり	計 画	田原 さおり	S A A	滝川 晃
計 画	田原 さおり	S A A	滝川 晃	S A A	滝川 晃	無 任 所	岡田 耕治
S A A	滝川 晃	無 任 所	岡田 耕治	無 任 所	岡田 耕治		

会場監督		(敬称略)	
S A A	滝川 晃	副S A A	川口 淳三 山田 隆教 天野 正亮 山村 安德 宮澤 三雄 吉川 宏 鳥居 善太郎 一由 麻里 山崎 直人 溝畑 洋子

各種委員会				
常任委員会	委員長	副委員長	担当	委員名
I 会 員 組 織	戸田 尊文			
(1) 会員増強・職業分類	古川 靖明	北 埜 登		須崎 洋一 田中 哲男
(2) 会員研修・会員選考	石田 肇	吉川 宏		島 頭 侑
II ク ラ ブ 運 営	一由 麻里			
(1) 出席・プログラム	山本 行伸	石川 亨		井上 家昌 岡田 耕治 芥藤 勝俊 金村 時喜 浅浦 哲夫 古川 靖明
(2) 親 睦 活 動	西村 智子	田原 さおり	寺西 太一 田中 哲男 小林 正二	木村 繁雄 芳田 至弘 河村 幸司 藤本 良男
(3) 広 報	前田 興二	芳田 至弘		
① 会報資料担当			井上 家昌	山田 隆教 山岡 信也
② 広報・雑誌担当			北川 忠嗣	奥林 繁一 天野 正亮
③ インターネット担当			山崎 直人	戸田 尊文 鎌倉 徹
III 職 業 奉 仕	中西 徹	鎌倉 徹		常楽寺 喜雄 森 裕一 戸田 尊文 小畑 治彦
IV 社 会 奉 仕	新井 繁太郎	山村 安德		石田 肇 駒林 廉弘 小林 正二 石川 亨
V 国 際 奉 仕	浅田 靖弘	大橋 秀典		吉崎 広江 松木 俊明
(1) ローターリー財団	芳田 至弘	表 康之		
VI 青 少 年 奉 仕	迫谷 聡太	芥藤 勝俊	浅浦 哲夫	
① 青少年担当			表 康之	水上 雅博
② 青少年交換担当			森 裕一	小畑 治彦
(1) 米 山 奨 学	河村 幸司	広田 甫		常楽寺 喜雄

会 計	田原 さおり	会 計 監 査	須崎 洋一
-----	--------	---------	-------

中 長 期 計 画 委 員 会	吉崎 広江	島 頭 侑 岡田 耕治 北川 忠嗣 広田 甫 河村 幸司 戸田 尊文 井戸田 精一 城戸 総一郎
-----------------	-------	---

東大阪東フューチャーロータリー衛星クラブ	藤本 良男 山崎 直人
----------------------	-------------

《 地区関係 》	ガバナーエレクト	大橋 秀典	2023-26年度地区幹事	吉崎 広江
規定・決議審議委員会委員	大橋 秀典	吉崎 広江	地区研修委員会委員	大橋 秀典
大阪・関西万博関連事業実行委員会委員	大橋 秀典			
地区財務委員会委員	吉崎 広江	前田 興二		
青少年奉仕統括委員会委員長	大橋 秀典		青少年奉仕統括委員会幹事	田原 さおり
地区職業奉仕委員会委員	西村 智子		地区米山奨学委員会委員	新井 繁太郎
地区ロータリー財団委員会委員	戸田 尊文		地区青少年交換委員会委員	滝川 晃

国際ロータリー 第2660地区 東大阪東ロータリークラブ

CLUB WEEKLY No.2760

国際ロータリー会長 ジェニファー・E・ジョーンズ

会長 藤本 良男

「親睦、多様性、公平性、奉仕、リーダーシップを共に考えよう」

大阪のロータリー100周年を祝おう！

青少年奉仕月間 例会日：2023年5月11日 (令和5年5月11日)

- | 今日の例会 | 2023年5月11日 | 来週の例会 |
|--|------------|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 本日の卓話 「青少年奉仕委員長として」 新井 繁太郎 君 今日の歌 「君が代」「四つのテスト」 例会後 5月度定例理事会 | | <ul style="list-style-type: none"> 5月18日(木) 卓話 宮澤 三雄 君 例会前 2023-24年度理事研修 例会後 次年度新理事会 |

会長の時間 藤本会長

ロータリアンの皆様。本日の例会出席ありがとうございます。早いものでゴールデンウィークも終わりました。休養ばかりではないでしょうか。今月のテーマは「青少年奉仕月間」です。5月のゴールデンウィークが終わると新入社員と新入生も力が抜けたようになる季節だそうです。また、ロータリーの基本理念は、共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものです。世界中のロータリー会員がお互いの関係や行動の土台として、尊重すべきであるという事は今更申し上げる必要はないと思います。そして、その基本理念の中で「インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)ロータリー青少年交換などを通じて若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援すること」と明記されております。さて、わがクラブではどうでしょうか。コロナも終息しました、これからは青少年育成に少しずつでもわがクラブでの推進することをお願い致します。そして、5月3日から5日までRYLAセミナーが開催されました。参加の皆様ご苦労様です。無事に終了されたことと思います。また今週の13日と14日は東大阪市民ふれあい祭りであります。そして、このパレードは東輪会(東大阪市内の5クラブ)の行事の一部ですので多くの会員の出席を期待いたします。

今日の一言
若いときの友人も、素晴らしいが、老境に入ってから友人は、なお素晴らしい。老境に入れば、友人を持つことの深い意味がわかってくる。

東大阪東ロータリークラブ HP: <http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長: 藤本 良男 創立: 昭和40(1965)年3月4日 例会場: ホテルセイリュウ 例会: 毎週木曜日 12:30~
幹事: 田原 さおり 事務局: 〒579-8012 東大阪市内上石切町1-11-12 ホテルセイリュウ302号室
会報資料担当: 大橋 秀典 TEL072-985-0189 FAX072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

《これからの予定》

- 【1】 本日例会後、5月度定例理事会
- 【2】 5/14(日)第44回東大阪市民ふれあい祭りパレード
- 【3】 5/18(木)例会前、2023-24年度理事研修例会後、次年度新理事会
- 【4】 5/20(土)2023-24年度のための増強セミナー(城戸会長エレクト、古川次期会員増強・職業分類委員長出席)
- 【5】 5/21(日)第15回よろず相談室

《連絡事項》

- 【1】 本日例会後、事務局にて5月度定例理事会を開催いたします。理事の方はよろしくお願ひ致します。
- 【2】 5/14(日)は東大阪市民ふれあい祭りパレードです。参加される方は、当日クラブジャンパー又はベスト・帽子をご着用下さい。
- 【3】 5/21(日)はよろず相談室です。多数のご参加よろしくお願ひ致します。

米山奨学生 範 虹宇 さん ようこそ



四つのテスト



ロータリーの友 2023年5月号推奨記事から抜粋
「ロータリーの友」青山快玄地区代表委員

広報委員会
広報・雑誌担当 井上 家昌

【横組記事】

P4~5 [RI 会長メッセージ(RI 指定記事)]
「世界を変える行動人」と共感の心
会員にとっての「居心地のよさと配慮」が満足度を高める唯一かつ最良の方法であり、会員維持の最善の手段です。
私たちは、「世界を変える行動人」であり、その行動の裏には配慮、思いやり、共感、インクルージョンがあります。人々に歩み寄って力を貸すことで、ロータリーを新たな光として「イマジ」し、ロータリーの価値と無限の可能性を真に理解してくれるでしょう。

P7~15 [特集 青少年奉仕]
リーダーを育むロータリー青少年交換プログラム
世界100以上の国と地域で実施され、15~19歳の若者が外国に滞在し、言語や文化を学びながら、世界市民としての自覚を養います。
今回は参加をきっかけにリーダーとなった起業家と、これから派遣される次世代のリーダーを紹介します。
D.2840 村上 采一伊勢崎銘仙をブランド化 伝統の布に新しい価値を添える
D.2770 宮脇 路子一派遣先で魅了されたフィンランドの文化や伝統を日本に伝える
D.2580 近藤 修一派遣先で国際情勢に感心を抱く 途上国への海外進出を支援
D.2660(スポンサークラブ:大阪RC) 右近 いろは-42 日間のチャレンジ 高校生とロータリーをつないだ奉仕の心 ロータリーはこんな若者を支援します

P20~24 [視点 ガバナーのロータリー・モメント]
P20 の下段 D.2660 宮里 唯子ガバナーの熱意が伝わります。

【縦組記事】

P4~8 [SPEECH]
2022年4月23日D.2610 新湊RC 創立50周年記念講演要旨
織田克利氏「その可能性、開く? 閉ざす?」
自分ならどんなことが好きで一生懸命できるのかな、ということを考えてみるのは、一つのきっかけになります。自分にとっては楽しく、力が付くとうれしく、継続することができ、結果として新しい自分を見つけられるかもしれません。そして、次の目標が見えてくる。努力はさせられるものではなくて、自ら積み重ねるものなのです。

カンボジア国連ボランティア中田さんの死から30年

内戦後のカンボジアで1993年4月、国連ボランティアとして選挙監視に赴いた中田厚仁さんが凶弾に倒れて、4月8日で30年が経ちました。当時25歳だった中田厚仁さんは、国連のボランティアとしてカンボジアの総選挙を支援していた最中に、銃撃され、亡くなりました。
父の武仁さんは、厚仁さんが凶弾に倒れた直後、「身を捨てても、やるべきことを息子はした」と語りました。更に、厚仁さんの遺志を継ごうと、当時、勤めていた商社を辞め、国連機関の1つ、「国連ボランティア計画」の名誉大使となって世界各地を訪れ、ボランティアや平和の大切さを訴えていきましたが、2016年に亡くなっています。事件後、中田さんが亡くなったカンボジア中部コンポントム州の現場周辺には「ナカタアツヒト村」ができ、小中学校や職業訓練校が相次いで設立されました。お二人のご冥福をお祈り申し上げます。
4月8日には、植野篤志大使が、プノンペンウナロム寺院にある中田厚仁氏の慰霊碑に献花しました。また、日本では、京都芸術大学、外務省、国連ボランティア計画が、「中田厚仁30年平和フォーラム」を開催しました。
日本は、国際平和への積極的貢献を行うため、1992年の通常国会で「国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律」(PKO法)を可決しました。国会審議では、当時の社会党や共産党が理不尽な反対行動を行うとともに、多くの条件を求めたこともあり、その後の現場の手足を縛る結果となり、1993年には文民警察官と国連ボランティアとして活動にあたった2人の日本人が襲撃されて死亡しました。
カンボジアのために命を懸けた日本人がいたことを決して忘れてはならないと強く思っております。また、日本の国際貢献活動が、カンボジアの復興に大きく貢献したこと、そして多くのカンボジアの方々が日本に感謝していることもぜひ強調しておきたいと思ひます。これまでの関係者の方々の献身的な努力に敬意を表します。

カンボジア在住 経済アナリスト記事
(元 国際親善奨学生 西口三千恵さん提供)



出席報告

4月27日

(5/4)祝日・休会
(4/27)の出席者数:29名(1)
内ZOOM出席1名

ゲスト1名:米山奨学生 範 虹宇 さん

4/27 出席率:65.91%

※()内数字は出席免除会員の出席者数
会員:54名(免除11名)

	4/13	4/20	4/27
HC出席	27(2)名	29(3)名	29(1)名
MU出席	4(0)名	6(1)名	3(0)名
修正出席率	68.89%	74.47%	72.73%